

ORIGINAL BASIC

CDシステムコンポーネント

取扱説明書/保証書

9-CS1-901-02

XR-BU30

Printed in China

【製造元】アイワジャパン株式会社

製品保証書	持込修理
品名	CDシステムコンポーネント
型名	XR-BU30
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から 1年
本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、上記記入の上、修理をお申し付けください。 ●本書は再発行しませんので大切に保管ください。	
お客様ご住所	様
〒□□□-□□□□	電話
●ご販売店様へお買い上げ日、真店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。	
販売店	
<p>商品、操作方法やトラブル、修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ アイワお客様ご相談窓口：0570-062-312 受付時間：平日9時～17時(土日、祝日、長期連休を除く) ※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。</p>	
<p>無料修理規定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(持込修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類はお買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。 2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本書の提示が無い場合。 (2) お買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。 (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。 (4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ペル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷。 (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。 (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地災、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。 (7) 一般家庭用以外(業務用など)に使用された場合の故障・損傷。 (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。 (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。 3. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。 4. 修理に際して再生部品、代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。 5. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。 6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。 7. 記録媒体を損壊または使用する製品の廃止、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。 8. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.) 	
修理メモ	
<ul style="list-style-type: none">●本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。 ●保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。	

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口へ修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号	行為を指示する記号
   	 
禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止	プラグをコンセントから抜く 指示

⚠危険


禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠警告


禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけない。
- 重いものをせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口へ交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意


分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げの販売店またはアイワの相談窓口にご相談ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池

リチウム電池 CR2025（リモコン用）

⚠危険 **ボタン型電池が液漏れしたとき**

ボタン型電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

BLUETOOTH®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4020 GHzから2.4800 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1.本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3.不明な点その他お困りのことが起きたときは、アイワの相談窓口までお問い合わせください。アイワの相談窓口については、製品保証書をご覧ください。この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

使用上のご注意

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- Dual Discの再生はできません。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライダブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付き音楽ディスクについて

●本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけないようにしてください。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

➡電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているか、確認してください。

- ➡音源切替ボタンで正しい音源を選択しているか、確認してください。
- ➡ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていないか、確認してください。
- ➡音量が最小になっていないか、確認してください。
- ➡本機で再生できるファイル形式か、確認してください。
- ➡本機に対応しているUSBデバイスやSDカードを使用しているか、確認してください。

雑音が入る

➡近くで携帯電話など電波を発するものを使用しないでください。

CDの再生が始まらない

➡ディスクトレイが閉まっているか、確認してください。

CDを入れても「no」と表示される

- ➡CDの文字のある面を上にしてているか、確認してください。
- ➡CDが汚れていないか確認し、汚れていたらきれいにしてください。
- ➡CD-R、CD-RWを再生する場合、CDがファイナライズ処理されているか、確認してください。

ペアリング(機器登録)できない

本機とBLUETOOTH機器をBLUETOOTH接続できない

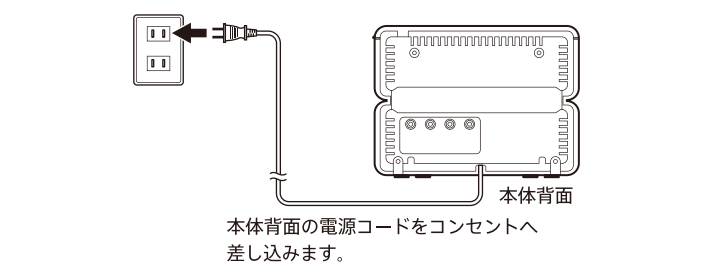
- ➡本機とBLUETOOTH機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- ➡本機のディスプレイに「BT」が表示され、BLUETOOTHランプが点滅していることを確認してください。
- ➡BLUETOOTH機器の設定メニューで接続機器一覧から本機を一度削除し、もう一度ペアリングしなおしてください。

それでも解決しない時は…

➡アイワの相談窓口にご相談ください。

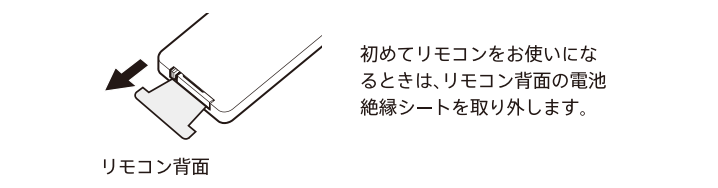
電源を準備する

コンセントに電源コードを接続する



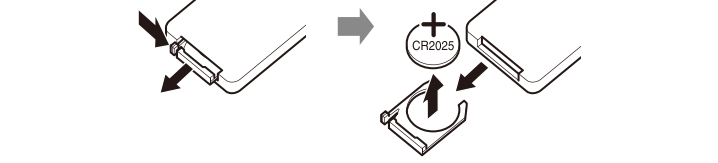
本体背面の電源コードをコンセントへ差し込みます。

リモコンの電池を準備する



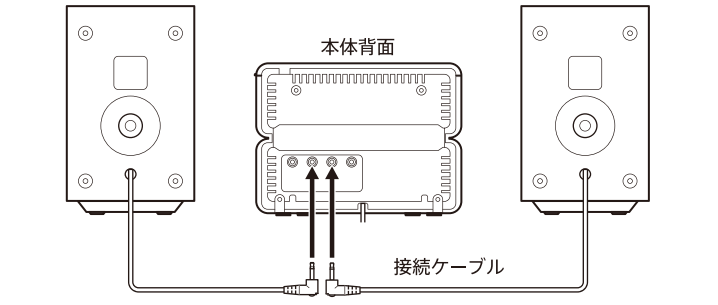
リモコンの電池を交換する場合は

リモコン背面の電池トレイのツメを横にスライドし、電池トレイを引き出して電池を交換します。

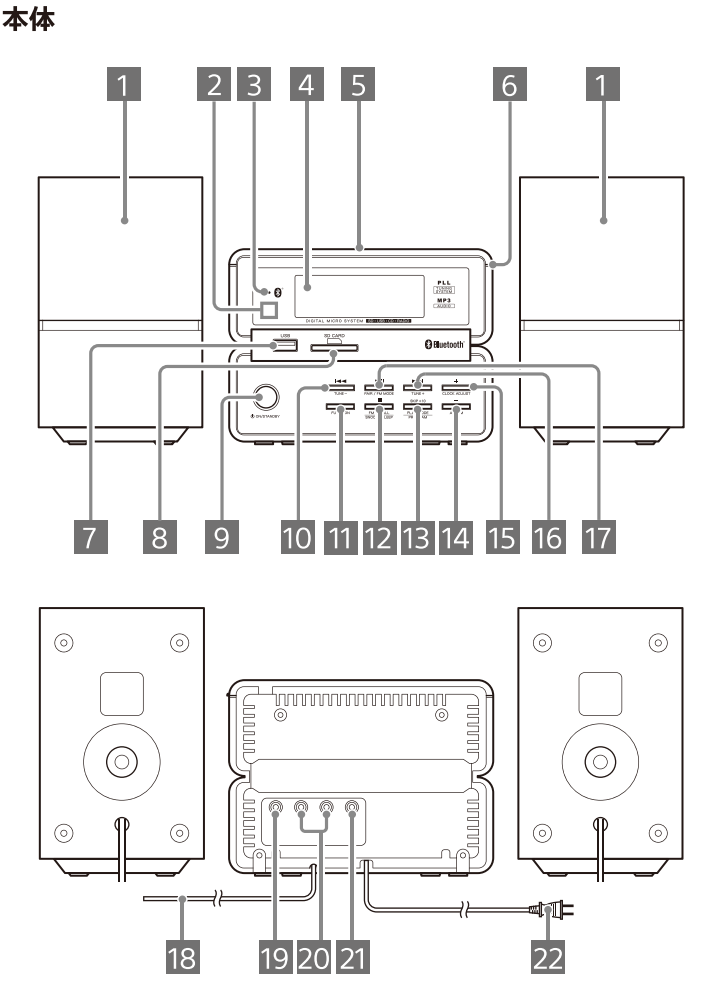


スピーカーを準備する

スピーカーの接続ケーブルを本体背面のスピーカー端子に接続します。

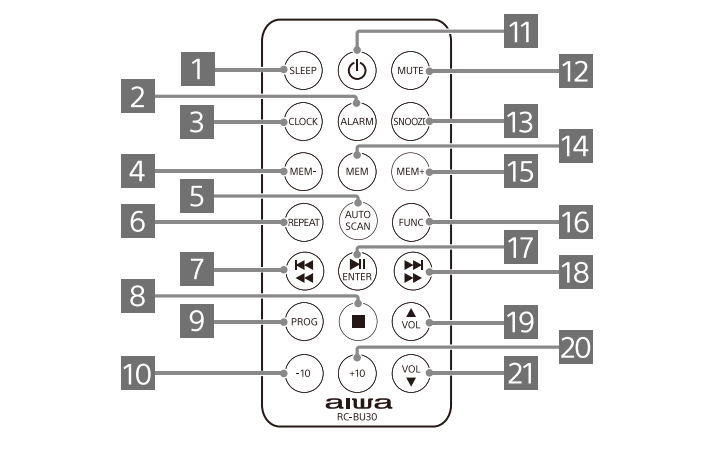


各部名称



- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | スピーカー (左右) | 13 | PLAY MODE (再生モード) / PROGRAM (プログラム) / SKIP+10ボタン |
| 2 | リモコン受光部 | 14 | VOLUME- (音量小) / ALARM (アラーム)ボタン |
| 3 | BLUETOOTHランプ | 15 | VOLUME+ (音量大) /CLOCK ADJUST (時計設定)ボタン |
| 4 | ディスプレイ | 16 | ▶▶ (次) /TUNE+ (選局)ボタン |
| 5 | ディスクトレイ | 17 | ▶▶ (再生/一時停止) / PAIR/FM MODE (ペアリング/ FMモード)ボタン |
| 6 | ディスクトレイ開閉部 | 18 | FMアンテナ |
| 7 | USBポート | 19 | ヘッドホン(PHONES) 端子 |
| 8 | SDカードスロット | 20 | スピーカー (SPKR) 端子 |
| 9 | ⏻ (電源) ボタン | 21 | 外部入力(AUX-IN)端子 |
| 10 | ◀◀ (前) /TUNE- (選局)ボタン | 22 | 電源コード |
| 11 | FUNCTION (音源切替)ボタン | | |
| 12 | ■ (停止) /FM RECALL (FMメモリー消去) / SNOOZE/SLEEP (スヌーズ/スリープ)ボタン | | |

リモコン



- | | | | |
|----|--------------------------|----|--------------------------------|
| 1 | SLEEP (スリープ) ボタン | 12 | MUTE (消音) ボタン |
| 2 | ALARM (アラーム) ボタン | 13 | SNOOZE (スヌーズ) ボタン |
| 3 | CLOCK (時計) ボタン | 14 | MEM (メモリー) ボタン |
| 4 | MEM- (メモリー選局) ボタン | 15 | MEM+ (メモリー選局) ボタン |
| 5 | AUTO SCAN (自動スキャン) ボタン | 16 | FUNC (音源切替) ボタン |
| 6 | REPEAT (リピート) ボタン | 17 | ▶▶ (再生/一時停止) / ENTER (決定) ボタン |
| 7 | ◀◀ (前/選局) / ◀◀ (早戻し) ボタン | 18 | ▶▶ (次/選局) / ▶▶ (早送り) ボタン |
| 8 | ■ (停止) ボタン | 19 | VOL▲ (音量大) ボタン |
| 9 | PROG (プログラム) ボタン | 20 | +10 ボタン |
| 10 | -10 ボタン | 21 | VOL▼ (音量小) ボタン |
| 11 | ⏻ (電源) ボタン | | |

この取扱説明書では、リモコンと本体操作パネルで同じ機能を持つボタンについては、リモコンからの操作を中心に説明しています。

時刻を設定する

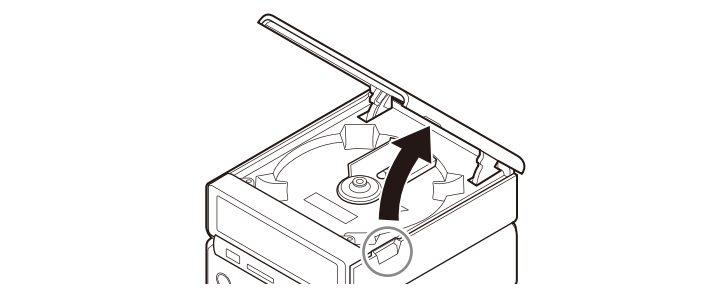
- 電源オフ時にCLOCKボタンを2秒以上長押しする。「24H」または「12H」表示が点滅し、時刻設定モードに入ります。
- ▶▶|/|◀◀(次/前)ボタンを押して、表示形式を「24H」(24時間表示)または「12H」(AM/PM表示)で切り替える。
- CLOCKボタンを押す。
- 手順2～3をくり返して、「時」と「分」を設定する。

注意

- 設定中に5秒間操作がない場合は、自動的に設定がキャンセルされます。

CDを再生する

- FUNC (音源切替)ボタンを押してCD画面に切り替える。ディスプレイに「CD」が表示されます。
- ディスクトレイ開閉部を持ち上げてディスクトレイを開け、CDを入れる。



ディスクトレイを閉めるとCDの読み込みが始まり、ディスプレイに曲数と再生時間が表示されます。

- ▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押す。1曲目から再生が始まります。停止するには■(停止)ボタンを押します。

再生中に曲を一時停止するには

▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押します。

曲を送る/戻すには

▶▶|/|◀◀(次/前)ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。+10/-10ボタンを押すと曲番号が前後に10ずつ移動します(本体はSKIP+10ボタンの長押しで10ずつ進みます)。停止中に操作した場合は、▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押すと、選択した曲から音源を再生します。▶▶| / ◀◀ (早送り/早戻し) ボタンを長押しすると再生位置を移動できます。

リピート再生/シャッフル再生をするには

再生中または一時停止中にREPEATボタンを押します。押すたびに、1曲リピート(🔁)、全曲リピート(🔁 ALL)、シャッフル再生(🎲)、通常再生に切り替わります。

プログラム再生をするには

- 再生停止中にPROGボタンを押す。「P01」と表示され、「MEMORY」が点滅してプログラム設定モードに入ります。
- ▶▶|/|◀◀(次/前)ボタンを押して曲を選ぶ。
- PROGボタンを押す。選択した曲が、プログラムに設定されます。続いてプログラムを設定するには、手順2～3をくり返します。最大20曲まで設定できます。
- ▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押す。プログラム再生モードに切り替わり、設定したプログラムの曲順でCDを再生します。■(停止)ボタンを1回押すと再生を停止します。■(停止)ボタンを2回押すとプログラムが消去されます。

BLUETOOTH機器を再生する

- FUNC (音源切替)ボタンを押してBLUETOOTH画面に切り替える。ディスプレイに「BT」が表示され、BLUETOOTHランプが点滅して本機がペアリングモードに切り替わります。
- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにして、本機とペアリングする。本機は「XR-BU30」と表示されます。BLUETOOTH機器の詳しい操作は、機器の取扱説明書をご覧ください。
- BLUETOOTH機器を操作して、曲を再生する。本機の▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押しても再生できます。

BLUETOOTH接続を解除するには

リモコンの▶▶| (再生/一時停止) ボタンまたは本体のPAIR/FM MODEボタンを2秒以上長押しすると、現在の接続を切ってペアリングモードになります。

注意

- BLUETOOTH機器や再生する音源によっては、再生音が小さいあるいは大きい場合があります。その場合は本機およびBLUETOOTH機器の音量を適切な大きさに調整してください。

ラジオを聞く

あらかじめ背面のFMアンテナを適切な向きに伸ばしておいてください。

- FUNC (音源切替)ボタンを押してFM画面に切り替える。ディスプレイに「FM」が表示されます。
- ▶▶|/|◀◀ (選局) ボタンを押して周波数を変更し、放送局を選択する。▶▶| / ◀◀ (選局) ボタンを2秒以上長押しして、自動的に放送局をスキャンすることもできます。

放送局を登録する

よく聞く放送局を最大30個まで登録できます。

自動的に登録するには

AUTO SCANボタンを押します。利用できる放送局が自動的にスキャンされ、登録されます。

手動で登録するには

- 登録する放送局を選局する。
- MEMボタンを押す。「MEMORY」と「P-XX」が点滅します。
- MEM+/MEM-ボタンで登録する番号を選択する。
- MEMボタンを押す。

登録した放送局を選ぶには

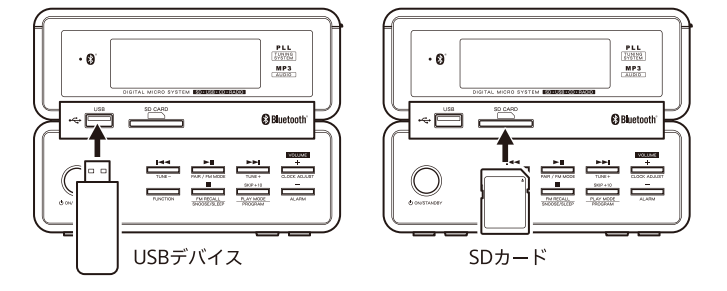
MEM+/MEM-ボタンで登録した番号を選択します。

モノラル受信に切り替えるには

本体のPAIR/FM MODEボタンを押すと「STEREO」表示が消え、モノラル受信になります。FMステレオ放送で雑音が気になる時は、モノラル受信に切り替えると雑音が低減できる場合があります。

USBデバイス/SDカードの音源を再生する

- FUNC (音源切替)ボタンを押して、USB画面またはSDカード画面に切り替える。ディスプレイに「USB」または「CARD」が表示されます。
- USBデバイスまたはSDカードを、本機のUSBポート/SDカードスロットに取り付ける。USBデバイスまたはSDカードの読み込みが始まり、ディスプレイにフォルダ数(FXX)と曲数が表示されます。



- ▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押す。再生が始まります。停止するには■(停止)ボタンを押します。

再生中に曲を一時停止するには

▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押します。

曲を送る/戻すには

▶▶|/|◀◀(次/前)ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。+10/-10ボタンを押すと曲番号が前後に10ずつ移動します(本体はSKIP+10ボタンの長押しで10ずつ進みます)。停止中に操作した場合は、▶▶| (再生/一時停止) ボタンを押すと、選択した曲から音源を再生します。

リピート/シャッフル再生をするには

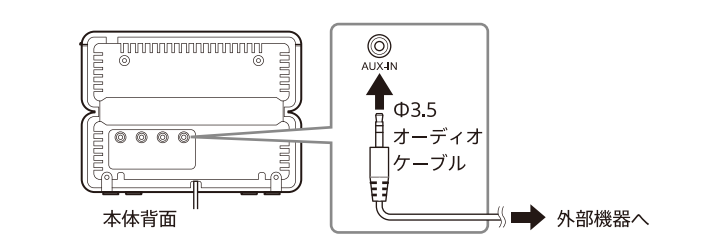
再生中または一時停止中にREPEATボタンを押します。押すたびに、1曲リピート(🔁)、フォルダーリピート(🔁 FOLDER)、全曲リピート(🔁 ALL)、シャッフル再生(🎲)、通常再生に切り替わります。

プログラム再生をするには

CD再生時と同様、プログラム再生ができます。操作方法について詳しくは、CD再生の項をご覧ください。

外部音源を聞く(AUX)

外部入力(AUX IN)端子に、他の音楽プレーヤーを接続することで、音声を本機のスピーカーから聞くことができます。



アラームを利用するには

- 電源オフ時に、ディスプレイに🔔(アラーム1)と時刻表示が点滅するまでALARMボタンを長押しする。
- ▶▶|/|◀◀ (次/前) ボタンで「時」を選択する。
- ALARMボタンを押す。
- 手順2～3をくり返して、「分」音源」を設定する。音源はCD→USB→SDカード→ブザー音(BUZZ)→FMの順に切り替わります。
- ALARMボタンを押す。🔔(アラーム2)と時刻表示が点滅します。
- 手順2～4をくり返して、アラーム2を設定する。アラーム2が不要な場合は、ALARMボタンを3回押して設定状態を終了します。アラーム設定が完了すると、ディスプレイに🔔 / 🔔 が表示されます。
- アラーム1/2を選ぶ。ALARMボタンを押すたびに、アラームオフ→アラーム1有効(🔔)→アラーム2有効(🔔)→アラーム1・2有効(🔔 / 🔔)に切り替わります。

注意

- 設定中に10秒間操作がない場合は、自動的に設定がキャンセルされます。
- CDやUSB、SDカードで再生できない場合は、ブザー音に切り替わります。

アラームが鳴ったときは

SNOOZEボタンを押すと、アラームを9分間スヌーズできます。スヌーズを解除するには🔔 (電源) ボタンを押します。

スリープタイマーを利用するには

SLEEPボタンを押す(本体はSLEEPボタンを長押しする)と、スリープタイマーを利用できます。押すたびに、タイマー設定が90～10まで10分刻みで切り替わります。スリープタイマーの設定中は、ディスプレイにZZZが表示されます。

便利な機能

オートパワーオフ
音源を再生していない状態や何も操作を行わない状態で15分間経過すると、電源が自動的にオフになります。

主な仕様

CDプレーヤー部	
チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1 kHz
再生可能ディスク	音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマット記録ディスク)
ラジオ部	
受信周波数	FM:76～108 MHz (0.1 MHzステップ) <p>ワイドFM対応</p>
MP3部(USB/SD)	
対応メディア	最大128GB (FAT16/FAT32/exFAT)
再生可能フォーマット	MP3
Bluetooth部	
バージョン	Ver. 5.0
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
共通部	
電源	AC 100 V、50/60 Hz
スピーカー	フルレンジ7.0cm (6Ω)×2、バスレフ型
実用最大出力	1.5 W+1.5 W
入力端子	USBポート <p>SDカードスロット</p> <p>外部入力端子(Φ3.5 ステレオミニ)</p>
出力端子	ヘッドホン出力端子(Φ3.5 ステレオミニ)
消費電力 ¹⁾	10 W
待機消費電力	0.2W
最大外形寸法	本体： <p>150 mm (幅)×112 mm (高さ)×182 mm (奥行)</p> <p>スピーカー： <p>96 mm (幅)×155 mm (高さ)×118 mm (奥行)</p> <p>(突起物は含まない)</p></p>
質量	約1.8 kg
¹⁾ (社)電子情報技術産業協会「JEITA規格」による測定値	

同梱品

本体(1)
スピーカー (2)
リモコン(1)
オーディオケーブル(1)
取扱説明書/保証書(本書)

商標について

- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。